

地域おこし協力隊



整体を始めます！

足 揉みの普及活動を進めていると「腰を揉んで欲しい」「肩を揉んで欲しい」「首が痛いから揉んで欲しい」などのご意見をよくいただいております。

そんなご要望に応えるため今年度より整体を学び始め、ようやく皆さんにお披露目できる状況まで技術を向上させてまいりました。そして、今月から学んだ技術を皆さんにご提供していきたいと思えます。整体モニター体験をご希望の方は井口までご連絡ください。もちろん足揉み希望の方のご連絡もお待ちしております。『問い合わせ先 協力隊井口 080-3090-2460まで』

(井口陽介)



祭りを終えて…

8 月2日、日曜日、リバートレックキングを楽しみながらの婚活イベントのスタッフとして昼食のバーベキュー会場の設営や参加者の川下りの安全確保のお手伝いをさせて頂きました。

結婚相談員、議会、役場、婚活コンサルトの願いが天に届いたのでしょうか、暑い日で風もなく、川遊びには最適の日でした。私も手伝いといえ大人の川遊びを楽しませてもらいました。

8月は神地・子壱神社のお祭り、青年団主催の納涼盆踊り花火大会、久保地区盆踊り、野原・熊野神社のお祭りと行事続きで時間が経つのが早く感じました。

(千々輪岳史)

先人の偉大さ



今月、協力隊でつくっている季刊誌『道志手帖』の第9号が発行されました！

今号の特集は「道志と都留」。昔からの道志と都留の関わりを取材しました。

私は主に道坂峠について調べました。三十三曲がりと言われる急坂をかつては馬を引き、荷を背負って登っていたと聞きます。その後、大正時代は道坂隧道が開通し、平成に入ってから現在の道坂トンネルがつくられました。普段は車で通り過ぎてしまう景色歩いてみると、また違った見え方や発見があり、その昔先人が額に汗をにじませて登った光景がぼんやりと浮かんでくるようでした。

今号は都留文科大学で機関誌を発行している「フィールド・ノート編集部」のみなさんにも取材協力していただきました。またひと味違った内容になっていると思います。ご覧ください！

(中島拓哉)

今 年もあちこちのお祭りに参加させて頂き、受け入れてくださった地域の皆様ありがとうございました。近々善之木のお神楽も復活すると聞き、楽しみにしています。



協力隊の任期も残り半年です。半年でやりたいことは、『道志手帖』発行継続の体制づくり、道志を歩くガイドブック制作、鹿革クラフトワークショップ試行、鹿革小物の試作販売、間伐や境界確定の技術習得、道志の水の写真展開催などです。

8 月15日、恒例の神地神楽、開催日でした。今年で3回目の参加となりますが、何度見ても魅力的です。合間に、神楽祭りを復活するまでのエピソードを区長さんから伺えたことが印象的でした。

(香西恵)



本などに記録されていない神楽舞いやお囃子の技術を、知っている方に何度も聞きつつ少しづつ掘り起こし、丁寧に形を整えていく作業に約7年を要したとのこと。皆様のご苦労あってのお祭りであることを感じました。

(大野航輔)